



R I. 第2620地区 静岡第2分区  
三島西ロータリークラブ

# 週報

第1774号

事務所 静岡県三島市中央町4番9号 2F  
TEL (055) 976-6351 FAX 976-6352  
例会場 静岡県三島市本町14-31 みしまプラザホテル  
TEL (055) 972-2122  
会長 岩崎 守幸 幹事 飯田 守



広重版画より 三島 朝霧

## 第1836回例会

2010.4.22(雨)

### 司 会

前田房江君

### ロータリーソング

「それでこそロータリー」  
指揮 石井良衛君

### 会長挨拶

会長 岩崎守幸君

「国際奉仕」

ロータリーの四大奉仕部門。ロータリアンが国際理解、親善、平和を推進するために実施できることすべてから成ります。その方法は、他国の人々、その文化、慣習、業績、抱負、問題を知ることであり、又、旅行や国際大会出席による個人交流であり、文通であり、さらに他国の人々の役に立つクラブの活動やプロジェクトすべて(ロータリー財団を含めて)に協力することです。

“世界に目を向けるロータリアンの責務として”

- 1、愛国主義にとらわれず、自分が国際理解と親善と平和を推進するという責務を共に負っているものとみなす。
- 2、国家的または人種的優越感によって行動しないようにする。
- 3、他国民と協調する共通の基盤を求め、これを育成する。
- 4、思想、言論、集会の自由、迫害と侵略からの解放、欠乏と恐怖からの解放を享受できるように、個人の自由を守る法律と秩序を擁護する。
- 5、どこかが貧困であれば、全体の豊かさを危うくすると認識し、あらゆる国の人々の生活水準を高めようとする措置を支援する。
- 6、人類に対する正義の原則を高くかざす。この原則は基本であり、世界的なものでなければならぬと認識する。
- 7、実践されれば必ず豊かで充実した人生をもたらす。

倫理的、精神的の基本水準が存在すると認識しながら、国際親善の一歩として、あらゆる他の人々の信念を理解する心をかき立て、実践する。

### 出席報告

	出席総数	出席率	メンバー	修正出席率
前々回	37/50	74.00%	45/50	90.00%
今回	44/52	84.62%	会員総数	55名

欠席者 石井(彰)君、北澤君、佐野君、千葉君、野口君、平野君、柳田君、渡辺君



4月25日(日) 地区協議会

於:浜松

### 幹事報告

幹事 飯田 守君

- ① 4月24日富士山3776自然林復元大作戦植樹に8名で行ってきます。
- ② 例年寄付をしています、緑の募金に寄付をしました。

2009～2010年度  
国際ロータリー会長  
ジョン・ケニー

ロータリーの未来はあなたの手の中に

## スマイルボックス

- ◆伊丹君、お陰様で十五周年感謝感謝セール、無事終了致しました。三島西RCの皆様には大変ご協力願い盛況の内終了致しました。有難うございます。それと、庭園内で黄せきれいの巣を見つけました。パパとママが一生懸命エサを運んでいます。
- ◆石井(彰)君、亥角さん、今日よろしくお祈りします。
- ◆室伏君、本日のギャラリープラザは赤堀尚さんです。蕪高卒業で数少ない中央でご活躍の作家です。
- ◆野田君、本日早退します。4月24日の富士山植樹の件、千葉委員長大変お世話になりました。
- ◆Bテーブル、4月15日、Bテーブル会を行いました。残金をスマイルします。

## ROTARY NEWS

### 「ビル・ゲイツ氏からポリオと闘う ロータリアンへの応援メッセージ」

ビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団の共同委員長であるビル・ゲイツ氏より、ポリオ撲滅に向け奮闘するロータリアンへ感謝の言葉と、ロータリーの「2億ドルのチャレンジ」の目標の半分を達成したことへのお祝いの言葉をいただきました。

「各国の政府予算が削られる一方で、撲滅活動の経費が上昇している現在、ロータリアンの資金活動なしには、このプログラムは成り立たない」ゲイツ氏はこのように述べ、「撲滅活動の先頭に立つロータリアンの役割もとても重要で、この闘いを、世界の最優先事項としていかなければならない」と強調します。

1985年に活動が開始されて以来、ロータリーは先頭に立ってポリオと闘ってきました。ゲイツ財団は、ポリオ撲滅活動を支援するため、2度にわたり総額3億5,500万米ドルの補助金をロータリーに授与しました。それに対し、ロータリーは2億ドルの上乗せ資金を投じることを誓ったのです。現段階までに、ロータリーは1億1,750万米ドルを達成しています。

## 卓話

### ミニロータリー情報

亥角裕己君

CLP (クラブリーダーシップ・プラン) の導入により従来のロータリー情報委員会の役割は会員増強維持委員会が行うことになりました。105年前シカゴに誕生したロータリークラブは全世界200カ国に広がっており2009年現在、クラブ数33,135、会員数1,217,000名に達しています。日本全体でのクラブ数は2,309クラブ、会員数94,575名。世界のロータリアンの数は増加しているものの、日本のロータリー人数は減少を続け2620地区は2010年3月現在80クラブ、3,251名とここ6年間で4クラブ・603名の減少となっています。日本経済の沈滞、新興国の発展とまさに経済のグローバル化を反映した結果にみえますが、時代の変化とともに価値観の変容がロータリーに影響していることもあります。ポールP・ハリスは「世界は常に変化している。ロータリーは、この世界とともに変化して成長していかなければならない。ロータリーの物語は幾度も書きかえられねばならない。」と述べています。ロータリーの基本理念は2つの奉仕哲学で成り立っています。

“He profits most who serves best” [最もよく奉仕するもの、最も多く報いられる]

“Service above self” [超我の奉仕]

ロータリーの奉仕理念を具体的にクラブ奉仕・職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕の四大奉仕として定義しています。

ロータリーを大きな木にと考えるとクラブの機能を充実させるクラブ奉仕はしっかりした根、あらゆる職業に携わるなかで奉仕の理念を生かす職業奉仕が太い幹、それから伸びた枝が社会奉仕、国際奉仕です。

おおきな時代の変化の中で普遍的な理念をしっかりと理解し継承すべきものはしっかりと継承し、変化すべきものを見極め次世代にロータリーの理想を伝えていきたいと思っています。

## 委員会報告

### IM実行委員会

せせらぎ三島RC杉山隆(アートサイン・スギヤマ)様より「2月のIMの際、看板の施工をさせていただき大変光栄に思っております。今後とも私共で出来ることは精一杯させていただきますので、宜しくお祈り致します。」と仰ることで非常に多額のスマイルをいただきましたので報告致します。

(週報担当：瀬川幸信)